

幼い子どもを交通事故から守りましょう！

★春には新入学(園)児が通学(園)を始めますが、こうした幼い子どもは、道路の安全な通行方法がまだ身につけていないため、道路上で危険な行動をとりがちです。

★子どもの危険な特性をしっかりと理解し、保護者は安全指導、ドライバーは安全運転に努めましょう！

幼い子どもには、事故に遭いやすい危険な特性があります…

- ①道路にとび出しやすい…
- ②物陰に姿が隠れやすい…
- ③友だちや家族と一緒にだと警戒心が弱くなる…
- ④右・左折車に対する警戒心が乏しい…



だから、保護者とドライバーはコレを実践して事故防止！

保護者の安全指導ポイント

- ①「とび出し」がなぜ危険か、子どもに理解させる
- ②車などの陰から渡るのがなぜ危険か、子どもに理解させる
- ③通学(園)路にある危険個所を子どもと確かめる
- ④信号の見方や、「青」信号でも危険があることを子どもに指導する

ドライバーの安全運転ポイント

- ①特に住宅地の道路では、子どものとび出しを警戒する
- ②車や電柱など物陰からの子どもの横断を予測する
- ③同伴者がいる子どもの不意のとび出しを警戒する
- ④右・左折するとき、近くに子どもがいないか確認する

令和6年 春の全国交通安全運動

交通事故死ゼロを目指す日 4月10日(水)

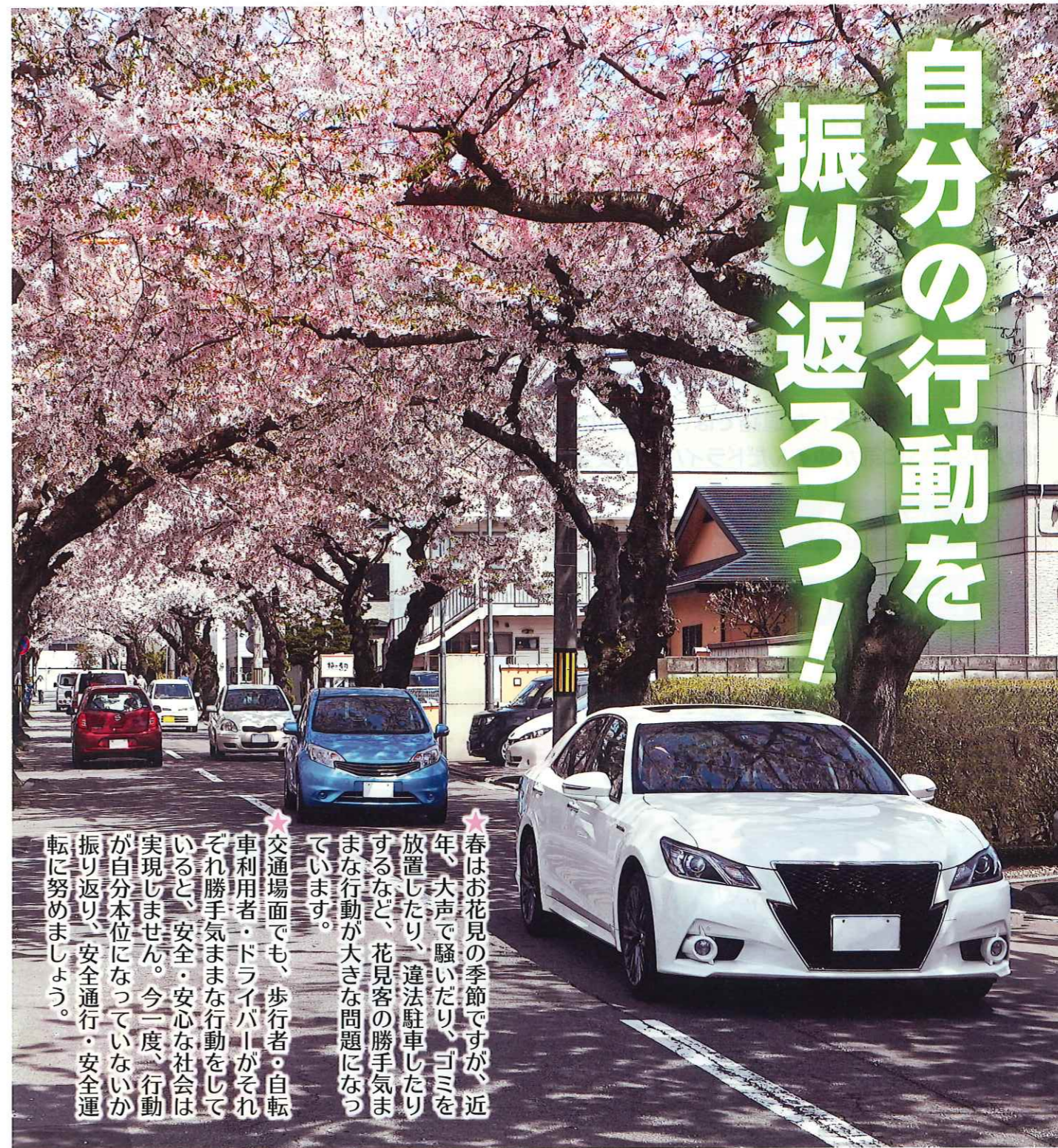
実施期間 令和6年4月6日(土)から4月15日(月)までの10日間

スローガン 「挙げる手を やさしく見守る 横断歩道」

運動の重点 (1) こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践

(2) 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行

(3) 自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守



自分の行動を
振り返ろう！

★春はお花見の季節ですが、近年、大声で騒いだり、ゴミを放置したり、違法駐車したりするなど、花見客の勝手気ままな行動が大きな問題になっています。

★交通場面でも、歩行者・自転車利用者・ドライバーがそれぞれ勝手気ままな行動をしていると、安全・安心な社会は実現しません。今一度、行動が自分本位になっていないか振り返り、安全通行・安全運転に努めましょう。

回覧

久慈市交通安全対策協議会 * 久慈市交通安全協会

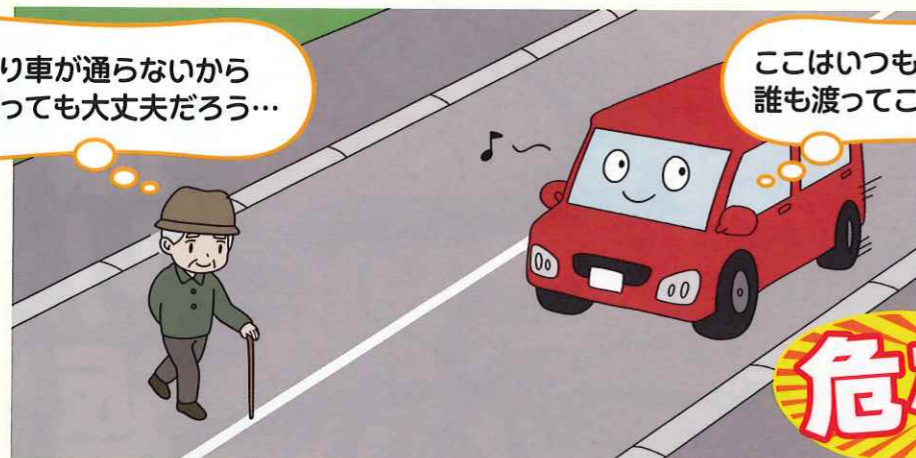
身近な道路が実は危険！「大丈夫だろう…」という油断は事故のもと…

自分本位の行動を戒め、いつでもどこでもしっかり安全確認！

①住宅地の道路では、

横断中の歩行者と車が衝突する事故が多発しています！

ここはあまり車が通らないからいきなり渡っても大丈夫だろう…



ここはいつも人通りが少ないから誰も渡ってこないだろう…

危ない！

特に住宅地の閑散とした道路では、油断した地域住民の歩行者がいきなり道路を横断したり、人通りの少なさに気がゆるんだドライバーが安全確認を怠って通行したりしがちです。

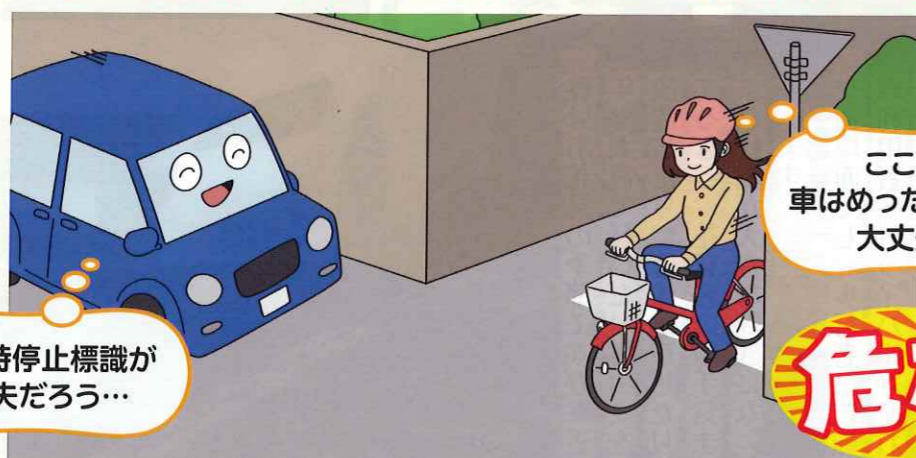
だから 歩行者は… 通り慣れている道路でも、横断前に必ず安全確認！

だから ドライバーは… 人通りが少ない道路でも、歩行者を探しながら通行！

②信号がない交差点では、

自転車と車が出会い頭に衝突する事故が多発しています！

こっちは一時停止標識がないから大丈夫だろう…



この交差点、車はめったに通らないから大丈夫だろう…

危ない！

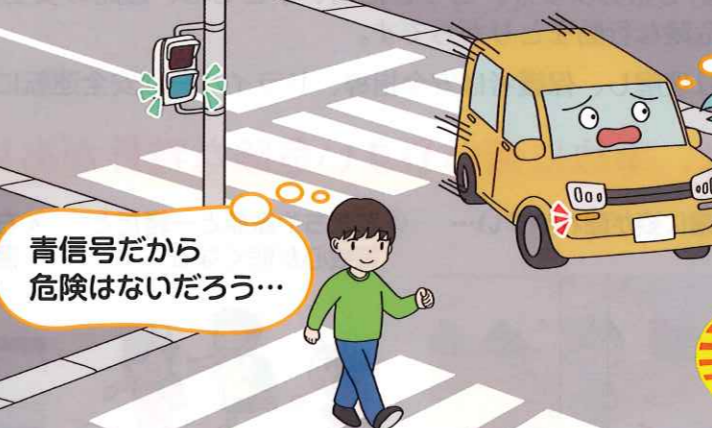
住宅地に点在している信号がない交差点では、一時停止を怠っていきなり交差点へとび出す地域住民の自転車利用者や、速度をゆるめず無警戒に通行するドライバーが少なくありません。

だから 自転車利用者は… 必ず一時停止をし、交差道路の車の有無を確認！

だから ドライバーは… 交差点では、一時停止標識の有無にかかわらず安全確認！

③信号がある交差点では、

歩行者・自転車が右・左折車と衝突する事故が多発しています！



青信号だから危険はないだろう…

対向車がきたから急いで右折しなきゃ…

危ない！

「青信号だから…」と油断して周りをよく見ずに横断する歩行者・自転車や、他車の動向に気が取られ、横断中の歩行者・自転車に目配りせず右・左折するドライバーが少なくありません。

だから 歩行者・自転車利用者は… 信号が「青」でも油断せず、横断前はもちろん、横断中も車が曲がってこないか確認！

だから ドライバーは… 交差点を右・左折する前に横断歩行者・自転車の有無を確認！

◆ 道路交通法一部改正・令和5年4月1日施行 ◆

自転車に乗るときは、**ヘルメットの着用**に努めましょう！



★ヘルメットを着用せずに自転車に乗っていた人が交通事故で死亡する確率は、ヘルメットを着用していた人の約2倍にも及びます。

★自転車乗車中の事故で死亡した人の半数以上は頭部の損傷が致命傷になっていますので、自転車に乗るときはヘルメットをかぶりましょう！

■自転車乗用中のヘルメット着用状況別の致死率

※全国・2018～2022年 ※致死率…死傷者に占める死者の割合
※警察庁ホームページより

